

多数の者の集合する催しにおける消火準備等について

施行日 平成26年8月1日

平成25年8月に発生した京都府福知山市の花火大会火災を契機に、祭礼、縁日、花火大会、展示会その他の多数の者の集合する催しにおける火災予防対策の充実強化を図るため、火災予防条例が改正されました。

この改正により、多数の者の集合する催しにおいては、次の事項が義務化されました。

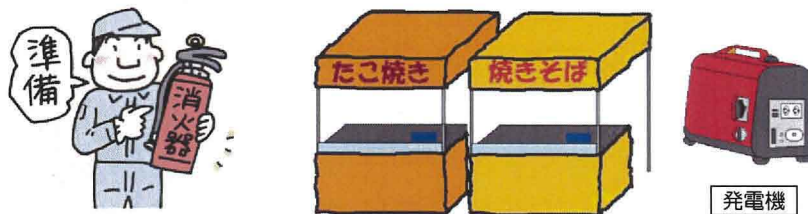
- (1) 火気使用器具等^{*}を使用する場合の消火器準備
- (2) 火気使用器具等を使用する露店等を開設しようとする場合の届出

^{*} 火気使用器具等とは、液体燃料・気体燃料・固体燃料を使用する器具又は電気を熱源とする器具のことです。

1 消火器を備えましょう！

＜第18条～第21条＞

多数の者の集合する催しにおいて火災が発生した場合、迅速な初期消火が極めて重要です！調理用器具や発電機などの火気使用器具等を使用する際には消火器を備えましょう！

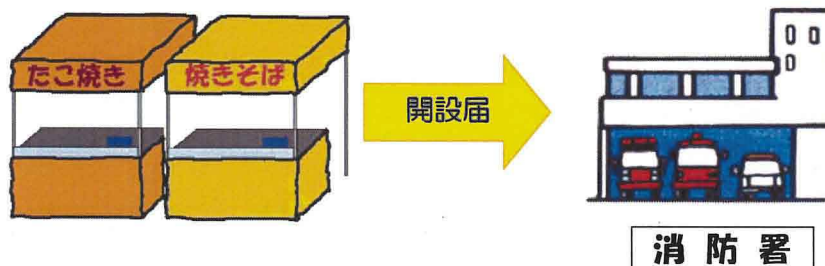


^{*} 複数の露店等で共同して備えることもできます。詳細は管轄の消防署までお問い合わせください。

2 露店等の開設を届け出ましょう！

＜第60条＞

露店等で安全に火気使用器具等を使用するために、3日前までに消防署長に届け出ましょう！



^{*} 催しの主催者や露店等の代表者が複数の露店等の開設を届け出ることもできます。

＜ご不明な点等ございましたら下記の消防署までお問い合わせください。＞



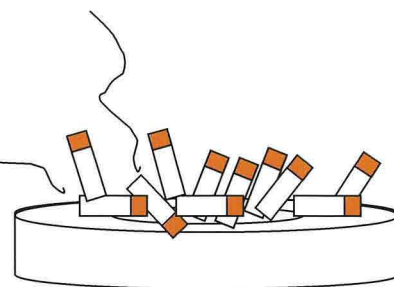
問合せ先

葛西消防署 予防課 防火管理係

担当者：芥川 中根

電話：03-3689-0119（内線 510 520）

消防署より大切なお知らせです！



たばこに起因する火災多発中！

葛西消防署管内では、今年に入ってたばこが原因で発生した火災が急増しています。7月15日現在まで建物火災は24件発生していて、主な出火原因のうち、たばこが原因の火災は5件で、昨年1年間の6件にせまる勢いで発生していて、さらに増加することが考えられます。

幸い火災による死者はでていませんが、発見、通報や消火が遅れた場合には、逃げ遅れて煙に巻かれたりして、命を落とす危険性が十分にあります！！

平成25年中に東京消防庁管内で

死者が発生した火災の出火原因のトップは「たばこ」です。

注意して下さい！！

- ① 吸殻は水を入れた灰皿などの吸殻専用のものを使って始末してください。
- ② 灰皿などの回りには燃えやすいものを置かないようにしてください。
- ③ 灰皿などの吸殻は山のように溜めることなく、こまめに処分しながら使ってください。
- ④ 灰皿などから吸殻を処分するときは、必ず水に浸してから処分してください。
- ⑤ 出かける時は、今一度吸殻の確認をしてください。水をかけておけば安心です。
- ⑥ 住宅用火災警報器を取り付けましょう。

（取り付けてあれば定期的に点検をしましょう！！）



たばこの吸殻の状況

吸殻が一杯のガラスの灰皿に完全に消えていないたばこの吸殻を捨てたため吸殻の火種が他の吸殻に着火して出火した事例です。



東京消防庁 葛西消防署